

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	地域CI展開事業			130311	担当課	まちづくり推進課	
	開始年度	平成3(1991)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	芦田 直也		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	86	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	魅力的なまちづくりを進め、ふるさとへの愛着心の高揚を図るため、市の木・花・鳥及び本市イメージキャラクターの普及・啓発を図る。市の木・花・鳥及びイメージキャラクターを普及・啓発することで、福知山市の個性化を図り、市内外にアピールすることにより、魅力的なまちづくりを進め、ふるさと福知山への愛着心の浸透を図る。						
	対象者	市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.01		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	■平成29年度事業概要 ・市の木・花・鳥の普及・啓発。市の木・花・鳥のパンフレット配布。 ・イメージキャラクター「ドッコちゃん」の着ぐるみ貸与とイラストを活用し市民への啓発を図る。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		消耗品			23	
役務費		郵送料、クリーニング代			21			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		163	59	57		
		補正予算等・・・②		1	4	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		164	63	56		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	0	1		
		特定財源名称(H29実績)					頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.10 / 0	0.10 / 0	0.10 / 0	/		
	概算人件費・・・④		800	800	800			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			964	863	857			
執行状況	執行額・・・⑥		105	44				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		64.0%	69.8%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		観光入込客数	人	922951/942000	946618/942000	/942000	942000	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		着ぐるみ貸し出し件数	回	26 / 40	42 / 40	/ 40	40	
		単位あたりコスト		6.3	1.0			
				/	/	/		
単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	着ぐるみは市内イベント等で活用され市民やイベント主催者のニーズは高い。また、イラスト使用にあたっては、各種媒体で使用するにより本市のPRとなる。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	多様なイベントで活用され、コストをかけずに周知が図れ効率的な事業運営ができています。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	市の花に親しむとともに、キャラクターの活用により子どもから高齢者まで、ふるさと福知山を実感できる機会となり有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○着ぐるみ貸し出し件数が減少しており、広報等を検討する必要がある。	
	今後の課題及び方向性	○事業の周知を図ることが課題である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の内容では事務経費しかみえてこないで、当初の事業目的を達せられるように考えられたい。</li> <li>・5万円程度の事業費でかつ地域CI展開事業という名称で事業立てする意味は。</li> <li>・市の木・花・鳥、ドッコちゃん等を単体でPRしても限度がある。PRの工夫が必要ではないか。</li> <li>・市歌の屋(庁舎)や夕方(防災無線)の放送は一度検討いただきたいと思ます</li> <li>・市のご当地キャラクターの独自投票イベントを年間通じて実施し、お城祭り等で投票結果を発表するなどの企画を考えてみてはどうか。</li> <li>・事業目的として市の木・花・鳥などの普及・啓発とあるが、普及させることでどのような効果を目指すのか明確な目的が不明。また、合併前から旧市・町のものをもそのまま残してあり、市のイメージ等でPRするには種類が多く、再整理が必要。</li> <li>・ドッコイセ大使の活躍する場の検討を。</li> <li>・イメージキャラの貸し出しのみと見受けられるため、そうしたCIを市民協働で作り上げていくことで、シビックプライドに繋がる活動になればと期待します。</li> <li>・いずれも市をPRしていくものになるので、シティロブモーション係等と庁内連携を行いながら取組んでいただければ。</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</li> <li><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</li> </ul>	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持    <input type="checkbox"/> 組替</li> <li><input type="checkbox"/> 縮減    <input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 拡充</li> </ul>	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	「あしぎぬ大雲の里」かわまちづくり検討事業			320107	担当課	まちづくり推進課		
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成31(2019)	作成責任者	芦田 直也			
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	92	頁		
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-			
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	「あしぎぬ大雲の里」周辺など川と隣接した地域において、由良川水辺空間を活かしたまちづくりを進めることを目的とする。							
	対象者	市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.04			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>							
	事業概要	平成29年度に「かわまちづくり検討委員会」で取りまとめた地域活性化策をもとにイベント等を地元住民や地域団体を中心に開催し、あしぎぬ大雲の里周辺の活性化を図る。同時に、市域全体をフィールドとした新たな、防災とまちづくりをテーマとした「かわまちづくりに係る活性化策」を、国、府と共に実現化に向けて検討する。							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		報償費		委員報酬			295		
旅費					55				
需用費		消耗品			61				
役務費		郵送料			7				
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		0	617	333			
		補正予算等・・・②		0	0	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		0	199	0			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	418	333			
		特定財源名称(H29実績)	地域振興基金繰入金			418	基金繰入金	36	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0 / 0	0.30 / 0	0.30 / 0	/		
概算人件費・・・④		0	2,400	2,400					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	3,017	333				
執行状況	執行額・・・⑥		0	418					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		#DIV/0!	67.7%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		委員提案事業数	件	0 / 0	10 / 10	/ 10	10		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		検討会議開催数	回	/	6/6	/6	-		
		単位あたりコスト		0.0	69.8				
		単位あたりコスト		/	/	/			
単位あたりコスト		0.0	0.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	策定委員による事業提案を含めた方針案を策定し、住民主体の事業展開を図るべく議論を進めた。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	福知山公立大学の先生や学生の参画など地元主導での計画策定を行った。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	国土交通省福知山河川事務所とも連携し、将来的なB/C設定に向けた議論なども進めてきた。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○地元住民を中心とした委員会を設置し、方針案を策定した。 ○地域住民が主導するイベント案やそれを基にした整備に向けた課題等の洗い出しを行った。	
	今後の課題及び方向性	○大江地域に限定せず、市内も含めた計画策定を検討していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価シートへの記述をもっと豊かに</li> <li>・国交省の取組は切り離してみても</li> <li>・国交省への計画申請によるものと推察されるが、認定によるメリットがあまりないのなら、ターゲットはやはり大江の由良川流域に限るなどの見直しがあってもよいのでは。市として予算をもつ必要性が不透明</li> </ul>			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
予算への反映 【財政担当課記入】		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	三和ふれあいフェスティバル事業			130312	担当課	三和支所			
	開始年度	平成18(2006)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	水谷 由紀		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料		86	頁		
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等		-			
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等		-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	三和地域最大のイベントとして地元団体等で構成される実行委員会が企画、運営し、住民が主体的に参加する手作りイベントとして実施する。屋外模擬店や農林産物品評会・販売のほか、作品展示、舞台発表など生涯学習の発表の場として、子どもから高齢者まで幅広い世代の参加と地域力を高揚させるイベントとなっており、また、三和地域の取り組みを外部に発信することにより、地域の振興及び活性化を図ることを目的としている。								
	対象者	三和地域の市民		対象者数	3,460		一人当たりコスト	1.15		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>								
	事業概要	町外からも多数の参加がある三和地域における最大のイベント。住民が主体のイベントで、地元団体等で構成される実行委員会が運営する。事務局は三和地域協議会。昭和40年代の三和町時代の農林業祭からスタートし、現在では作品展示、舞台発表、屋外模擬店及び農林産物品評会・販売、各種啓発の場となっている。								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		負担金補助及び交付金		三和ふれあいフェスティバル実行委員会に対する交付金				1,100		
関連事業										
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		0	1,100	1,000				
		補正予算等・・・②		0	0	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		0	0	0				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	1,100	1,000				
		特定財源名称(H29実績)	三和ふれあいフェスティバル事業基金繰入			1,100	基金繰入金	36 頁		
								頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.32/0	0.36/0	0.36/0	/				
	概算人件費・・・④		2,560	2,880	2,880					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,560	3,980	3,880					
執行状況	執行額・・・⑥		0	1,100						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	100.0%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		来場者数	人	5000	4500					
		延べ参加団体数	団体	61	72					
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		実行委員会開催回数	回	10	9	/	9			
		単位あたりコスト		-	122.2					
	単位あたりコスト				/					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・子どもから高齢者まで幅広い参加があり、文化的活動の発表の場として、また自主運営による手作りのイベントとして、地域の活性化と交流につながる重要なものである。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・参加団体から参加費を徴収するなどイベントの財源の一部を確保するよう努めている。 ・地元の資源を利用した効率的な手づくりイベントである。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・三和地域の活性化には大きな影響をもたらすイベントである。 ・次世代への地元文化等の継承や人材育成に有効なイベントである。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	▽担当課による自己評価△	目的及び指標等の達成状況に対する評価	参加団体は年々増加しているが、このことは、当地域が人口減、高齢化が進行する中で模擬店の出店、文化活動の発表の場を求め人やグループが増えていることであり、日ごろ文化活動を行う住民の増加や活動内容の多様化の受け皿として、また、地域の自主運営を基底にした参加型イベントとして定着してきたものと評価している。 来場者数は当日の天候にも左右されるが、数字的には目的をほぼ達成できていると考える。地域住民の積極的な参加意識・地域おこしの意識を喚起するイベントであることと併せ、地域活性化につながっている。	
今後の課題及び方向性		将来的に極度の人口の減少、高齢化の進行が予想されることから、自治組織や団体の弱体化、人材不足に伴うイベントそのものの存続が危惧される。本イベントが地域の活性化に繋がられるよう意識し、地域自体が主体性を持って運営する持続可能な身の丈に合った内容を検討していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・イベント自体は、ニーズも伺え必要なものと判断できる。 ・総事業費1,200千円のうち1,100千円が交付金となっており、自主財源の確保については今後も努力が必要。 ・三和町には工業団地がある強みを活かし、それらの企業に協賛の依頼をするなどできる範囲での歳入確保への取り組みは必要ではないか。 ・三和地域最大のイベントとして、継続して開催できるよう事業を推進していただきたいと思います		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	「森の京都 福知山」夜久野高原玄武岩コンサート事業		230176	担当課	夜久野支所	
	開始年度	平成27(2015)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	衣川 正彦	
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	88	頁
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	森の京都福知山マスタープラン	
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	京都府指定文化財(天然記念物)に指定され、京都府景観資産にも登録されている玄武岩公園は、宝山の噴火によって流出した溶岩が固まる時に形成された六角形の柱状節理が見られる施設で、夜間はライトアップされ、幻想的な空間となる。ここに特設ステージを設置し、ライトアップされた空間において夜久野玄武岩コンサートを行なうことにより、やくの玄武岩公園の魅力を広くPRし、観光客及び交流人口の増加を図る。					
	対象者	観光客及び市民	対象者数	1,300	一人当たりコスト	1.20	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> ときめき会					
	事業概要	京都府の「森の京都」事業と連携するPRイベントとして、やくの玄武岩公園一帯において模擬店を出店し、玄武岩を背景にした野外ステージの設置とライトアップで自然の魅力にスポットをあて、観光スポットとしての情報を発信し、夜久野地域の振興及び交流人口の増加を図るため、コンサートを開催する団体へ補助金を交付する。					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容		H29経費	
		ときめき会(実施主体)への補助金		イベント実施に要する経費に対する補助(全体経費698千円)		600	
関連事業	玄武岩公園管理事業(夜久野支所)						
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求
	事業費	当初予算・・・①		0	600	0	
		補正予算等・・・②		0	0	0	
		繰越し等・・・③		800	0	0	
	財源内訳	一般財源		0	300	0	
		国支出金		800	0	0	
		府支出金		0	300	0	
		地方債		0	0	0	
		その他特財		0	0	0	
		特定財源名称 (H29実績)	みらい戦略一括交付金			300	府補助金
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.21/0	0.12/0	0./0	/
		概算人件費・・・④		1,680	960	0	
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,480	1,560	0		
執行状況	執行額・・・⑥		800	600			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		玄武岩コンサート入込者数	人	900/1,300	850 /1,300	/	-
				/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		玄武岩コンサート補助金	千円	800/800	600/600	/	-
		単位あたりコスト		-	-		
			/	/	/		
	単位あたりコスト		0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域のまちづくりを目的に活動している団体が地元自治会と連携し実施されるイベントであるが、自己資金のみでの開催は困難であり「森の京都」事業に位置付けている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	受益者との負担関係を検討し、補助金額を削減している。周辺での駐車場の確保が困難であり、道の駅農匠の郷やくのからシャトルバスを運行している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	天候に左右され、補助金額に対する集客数割合が他のイベントと比べ悪くなっている。また、年間を通じての集客データが取れないため評価が困難である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成29年度は、「夜久野高原手づくり市」と同日開催日とし相乗効果を期待したが、天候の影響もあり集客数は目標数を達成できなかった。その中でも京都府の「森の京都」構想と連携し、夜久野地域の自然豊かな特性を活かし、夜久野高原及びやくの玄武岩公園を広くPRすることができた。	
	今後の課題及び方向性	京都府の「森の京都」事業期間が平成27年度から平成29年度となっており、平成30年度からの事業計画については、補助金に頼らない方向で事業実施を検討する必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象を明確に — 地域住民か、近隣の市住民か、入り込み客か？ ⇒ ターゲットが不明確 = 取り組みが散漫</li> <li>・DMO(森の京都)はどのような役割を果たしているのか？本来はDMOが考えるべき</li> <li>・一旦、29年度で市の事業としては終了(H30は未定)</li> <li>・今後、補助金を利用して実施されるのであれば、十分、精査して取り組まれない</li> <li>・今後、また市から補助金を出して実施するのであれば、現在のような収入のほとんどが補助金では難しい。自主財源の確保を。</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	
		<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>		



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	元伊勢八朔祭補助事業			130332	担当課	大江支所			
	開始年度	平成2(1990)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	山中 忠雄		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料		86	頁		
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-				
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	福知山市元伊勢八朔祭補助金交付要綱				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	明暦4年(1658年)から続く京都府伝統的行催事である「元伊勢八朔祭礼」の保存継承に取り組む「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に対して支援を行うことにより、福知山の伝統文化の発信や次代への継承及び地域の活性化を図る。また、伝統文化の発信により観光客の入込みを図る。								
	対象者	観光客及び市民		対象者数	500		一人当たりコスト	0.87		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 元伊勢八朔練込保存会								
	事業概要	「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に補助金を交付する。 【元伊勢八朔祭礼】 事業概要: ■実施日:9月の第1日曜日 平成29年9月3日(日) ■実施場所:大江町天田内・内宮・二俣地内 ■事業内容: 奴行列、烏毛廻し、練込み祭礼								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		保存会に補助		元伊勢八朔祭礼練込保存会				70		
関連事業										
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		78	70	68				
		補正予算・・・②		0	0	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		78	70	68				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	0	0				
		特定財源名称(H29実績)					頁		頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.03/0	0.03/0.05	0.03/0.05	/			
概算人件費・・・④		240	365	365						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			318	435	433					
執行状況	執行額・・・⑥		78	70						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		入込客数	人	700/ 1,500	500 / 1,500	/ 1,500	1,500			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		奴行列・烏毛廻し実施回数	回	1 / 1	1/1	/1	1			
		単位あたりコスト		78.0	70.0					
		烏毛廻し参加地区数	地区	3/3	3/3	/3				
単位あたりコスト		26.0	23.3							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・地域組織の負担をもって実施することは可能だが現実的には高齢化また人口減など取り巻く状況は厳しく、祭り継承者の確保が難しくなっている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・地域組織の一定の負担を検討するべきだが、保存にかかる経費の一部を補助することにより運営が図られている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果の入込み客数については、目標数値との乖離はあるが、市の観光資源としての広報不足も見受けられる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	・活動実績は見込みに届いていない。
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向けて、「元伊勢八朔祭礼」の保全継承などに取り組む「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に対し補助することにより登録無形民俗文化財の継承を図る。保存会を核に内宮・二俣・天田内の3地区において毎年練り込みが開催され、各地区での伝統的行事の継承と伝統の発信がされており、目的に果たしている。	
	今後の課題及び方向性	江戸時代から続く伝統ある催事を守るため伝統的祭事に対して補助を行っているが、限られた財源において補助額の見直しを検討する。平成30年度は、前年対比△2千円(△3%)となっている。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民への周知を検討されても良いのではないかと思います</li> <li>・祭りのPRを秘書広報課と連携し、更に発展できればと感じた。</li> <li>・伝統的行催事である元伊勢八朔祭礼を保存継承し、継続して元伊勢八朔祭礼が開催できるよう事業を推進していただきたいと思います</li> <li>・入り込み客数が減少傾向にあり、広報等の工夫が必要である。</li> <li>・市補助の増額も一方法だが、それだけで存続が安泰とも思えない。三自治会の氏子だけではなく、近隣自治会にも参加者を募るなどして、伝統の継承を図って欲しい。地域にお願いするしかないが。</li> <li>・補助金については見直しをされているが、今後も必要に応じて適正に見直しをされたい</li> <li>・目的に「伝統文化の発信」があるので、行政以外の団体とも連携して、取組をすすめて下さい</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p>	
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし			
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】		
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	観光振興一般管理事業			230125	担当課	産業観光課			
	開始年度	平成1(1989)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費			決算附属資料	188	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-				
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	観光振興業務を円滑に執行する。								
	対象者	観光客及び市民		対象者数	946,618		一人当たりコスト	0.01		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 各種団体(北近畿広域観光連盟、京都府観光連盟、大江山観光開発協議会)								
	事業概要	観光振興業務を円滑に行うための必要経費 平成29年度に「観光団体負担金事業」を統合								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		負担金補助及び交付金		北近畿広域観光連盟、京都府観光連盟等への負担金				928		
役務費		電話代、運搬料等				495				
旅費		プロモーション会議等にかかる旅費				283				
使用料及び賃借料		高速道路通行料				91				
需用費、報償費		需用費77、報償費5				82				
関連事業										
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		800	1,348	1,300				
		補正予算・・・②		218	538	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		983	1,851	1,265				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		35	35	35				
		特定財源名称 (H29実績)		福知山十景絵はがき		15	物品売払収入	32	頁	
			観光テレホンカード		2	物品売払収入	32	頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.58/0	1.28/0	1.28/0					
	概算人件費・・・④		4,640	10,240	10,240					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			5,658	12,126	11,540					
執行状況	執行額・・・⑥		1,018	1,879						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	99.6%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618/960,000	/980,000	1,000,000			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		連携する広域観光団体	団体	/	3/3	/3	3			
		単位あたりコスト		/	626.3					
		単位あたりコスト		/	/	/				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	事務事業を執行する上で、また観光関連施設を適切に維持管理するために必要な経費である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	費用は、必要最小限の経費であるが、今後においても引き続き事務の簡素化や効率化を図り、経費削減に努める。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	観光関連施設を適切に維持管理することで観光客の満足度を向上することができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○観光振興を推進するための事務については最小の経費で実施している。 ○近隣自治体と連携して広域観光を推進するためには、関係団体との連携が必要。	
	今後の課題及び方向性	○今後においても引き続き事務の簡素化や効率化を図り、経費削減に努める。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	・北近畿観光連盟と大江山観光開発協議会への負担金については、海(山)の京都DMOが発足した経緯等を鑑みて抜本的に見直すべきではないか。市としての主体的取組のフェーズでは既になく思われる		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	観光友好都市交流事業			230166	担当課	産業観光課			
	開始年度	平成25(2013)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費			決算附属資料	188	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-				
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	平成24年に「観光友好都市連携」及び「災害時における相互応援協定」を締結した大江山の酒吞童子伝説とゆかりのある金太郎の生誕地 静岡県小山町と観光分野における地域交流を通して住民福祉の向上と地域社会の発展に資するため、民間交流を促進し、将来にわたる絆を深める。								
	対象者	観光客及び市民		対象者数	946,618		一人当たりコスト	0.00		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>								
	事業概要	○「夏休み富士山チャレンジ自然体験」の実施 事業内容: 富士登山と小山町との交流 参加対象: 市内の中学1~3年生 ○「鬼伝説交流事業」の実施 事業内容: 小山町の児童を本市に招き、本市の子どもたちと交流を図る 平成29年度に大江支所「観光友好都市尾に伝説交流事業」を統合								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		使用料及び賃借料		バス借上運転 他				500		
旅費		夏休み富士山チャレンジにかかる旅費				42				
役務費		手漉き和紙体験料、和紙運搬料				23				
需用費		紐付き名札、携帯酸素等				17				
関連事業										
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		615	1,191	1,142				
		補正予算・・・②		511	△ 609	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		976	82	832				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	500	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		150	0	310				
		特定財源名称(H29実績)					頁 頁			
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.13/0	0.13/0	0.13/0	/			
概算人件費・・・④		1,040	1,040	1,040						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,166	1,622	2,182					
執行状況	執行額・・・⑥		1,041	582						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		92.5%	100.0%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618/960,000	/980,000	1,000,000			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		実施回数	回	1/1	2/2	/1	1			
		単位あたりコスト		520.5	291.0					
				/	/	/				
	単位あたりコスト									

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	平成24年に提携した観光友好都市静岡県小山町との交流を今後も継承し、将来にわたる絆を深めるために必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	効率よく有効に事業が実施できていることに加えて、小山町にも積極的に協力をいただいている。 H30からは富士山登山参加者から負担金を徴収
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	市民が交流することにより、両市町の親交を更に深めることができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○小山町の子どもたちと交流を図ることで、お互いのまちに対する愛着心の醸成につながっている。	
	今後の課題及び方向性	○行政間のみでの交流にとどまらず、市民町民間の交流が行われることで、小山町との友好の絆を深めている。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、小山町との交流の結果、観光客がどう推移したか計り今後の事業展開に活かしていけたらよいと思う。</li> <li>・成果実績指標として「『夏休み富士山登山』『鬼伝説交流事業』参加者の満足度」を設定することを検討いただきたい。</li> <li>・事業の効果がみえない</li> <li>・対象者は「参加者」などへの見直しを</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	観光地域づくりセンター(仮称)設置運営事業			230184	担当課	産業観光課			
	開始年度	平成29(2017)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費			決算附属資料	188	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-				
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	『北近畿の玄関口としての特性を活かし、市民主体で持続可能な観光コンテンツをつくる』を戦略テーマとし、本市にある過疎化や高齢化等により活力を失いつつある地域の地域資源と経営感覚のある事業者を繋いで、観光を切り口としながら持続可能な観光地域づくりを進める。								
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618		一人当たりコスト	0.02			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 株式会社ローカライズ								
	事業概要	○ 民間の専門的な視点やノウハウを有した戦略マネージャー及び地域づくり担当を外部委託し、地域の特徴を活かした観光地域づくりプランを作成し、地域関係者や事業者を交え伴走型により事業を展開。 (H29取り組み) [三和地域] 大原地区ウエディングプロジェクト ・ [旧市周辺地域] 上六人部地区農泊事業プロジェクト [中心市街地] 福知山城活性化プロジェクト								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		委託料		観光地域づくりセンター戦略マネージャー委託料等				12,598		
需用費		リサクルトナー、ドラムカートリッジ等				372				
旅費		先進地視察にかかる旅費				29				
報償費		委託業者選定審査会委員等謝金				10				
役務費		手袋クリーニング代				1				
関連事業										
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		0	13,603	13,138				
		補正予算・・・②		0	△ 521	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		0	0	0				
		国支出金		0	6,541	6,569				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	6,541	6,569				
		特定財源名称(H29実績)	地方創生推進交付金			6,304	国庫補助金	18	頁	
			地域振興基金繰入金			6,478	基金繰入金	36	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.00/0	0.71/0	0.71/0				
		概算人件費・・・④		0	5,680	5,680				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	18,762	18,818					
執行状況	執行額・・・⑥		0	13,010						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		-	99.4%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618/960,000	/980,000	1,000,000			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		事業着手数	回	/	3/3	/4	5			
		単位あたりコスト		-	4,336.7					
				/	/	/				
	単位あたりコスト									

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	持続可能な観光地域づくりを推進するために必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	専門的な経験と知識を有した民間事業者に業務を委託することにより効率的に事業を実施している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	平成29年度の新規事業であり、事業効果の評価基準を設定する必要がある
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○行政からの支援に依存しない持続可能な観光地域づくりを推進するために必要な取組み。 ○初年度である平成29年度は、事業着手箇所の選定と関係者間の調整を実施し目標としていた3箇所の事業着手は達成。	
	今後の課題及び方向性	○一部の関係者だけの取組みではなく、地域に関係する事業者を幅広く巻き込み、地域全体での取組みとする必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見 ・事業目的から観光客・市民との接点が多い地域づくり相当が今後の活動を持続可能ならしめるインセンティブが働くような経費の見直しの検討を。 ・POST地方創生財源は？ ・大河が決まったことでアウトプットの見直しを(むしろ31年以降)が大事 ・3年後の自立化はやや心配 ・少なくとも委託は一本化すべきでは？ ・それぞれが担うべき役割を整理して進めていく必要がある		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	「肉のまち福知山」事業			230186	担当課	産業観光課		
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	前田 剛			
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費	決算附属資料	188	頁		
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-			
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	本市にはかつて、西日本の三大家畜市場の一つとして全国の流通を支え、現在も精肉店や焼肉店を中心に様々な「肉」を扱った店舗が多く、複合的な肉文化が存在していることから、「スイーツのまち」に加え、肉をテーマにした物語の組立や資源の再発見など、新たな観光コンテンツとして「肉のまち福知山」をPRすることで観光誘客や地元産業の活性化を図る。							
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.00			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) 福知山肉まち協議会							
	事業概要	○「肉のまち福知山」関連イベントを計画したが、平成29年度は台風21号の災害を鑑み事業中止。							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		補償、補填及び賠償金		イベント中止に伴う補償金			906		
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		0	1,200	2,000			
		補正予算・・・②		0	△ 293	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		0	0	0			
		国支出金		0	453	1,000			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	454	1,000			
		特定財源名称(H29実績)	ふるさと創生事業基金繰入金			906	基金繰入金	38	頁
									頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.21/0	0.21/0			
概算人件費・・・④		0	1,680	1,680					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	2,587	3,680				
執行状況	執行額・・・⑥		0	906					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		-	99.9%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		観光入込客数	人	/	946,618 / 960,000	/ 980,000	1,000,000		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		実施回数	回	/	0/ 1	/ 1	1		
		単位あたりコスト		-	0.0				
		単位あたりコスト		/	/	/			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	「肉のまち福知山」として福知山市をPRする中心的事業であり、観光誘客の促進に効果があるため、市が中心となって事業を展開する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	イベントの売上金の20%を徴収する仕組みとし、財源の確保に努めた。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	平成29年度はイベント中止となったため、実績を分析することができないが、本市のPRや誘客を図るものとして有効と考える。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○イベント開催までに市内外から期待している声があり、周辺地域から観光客を集めることができる本市の主要イベントとなる可能性がある。	
	今後の課題及び方向性	○イベントだけにとどまらず、恒常的に「肉のまち福知山」を感じられる仕組みづくりが必要。 ○平成30年度からは「肉のまち福知山」事業を福知山市全体で推進するため、市内食肉関係の店舗、関係団体に協力を依頼の上、活動の基盤となる組織を設置する。 ○単発事業でなく、継続的な事業展開が図られるよう、関係業界等との連携や民間活力の活用により市内外に発信できる事業を目指す。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体ポイント制度を活用し、府内だけでなく(全国)に発信していく(広報)</li> <li>・取り寄せマーケット →リアルな(福知山に来て)食体験(観光)に結びつくのでは？</li> <li>・新しいブランディング、食べ方レシピの開発が食文化の発信に繋がるのでは</li> <li>・ブランドが乱立している</li> <li>・いがいと～の連携は？もっと市によるアプローチが不可欠</li> <li>・手探り状態の部分もあると思いますが、成果がでるように工夫とアイデアを</li> </ul>			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】		
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	海の京都DMO事業			230344	担当課	産業観光課			
	開始年度	平成25(2013)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費			決算附属資料	190	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等		-			
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等		-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 府・他市協調実施 )								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成27年、京都縦貫自動車道が全線開通し、アクセスが飛躍的に向上が向上した京都府北部(宮津市・京丹後市・舞鶴市・福知山市・綾部市・伊根町・与謝野町)を「海の京都」と位置付け、全国有数の競争力ある観光圏となることを目的に地域活性化と観光振興を資する事業を実施								
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618		一人当たりコスト	0.01			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 海の京都DMO								
	事業概要	「海の京都観光圏」エリアの京都府北部5市2町の行政、商工業、宿泊業、金融業等で構成する「海の京都DMO」に対して負担金を負担する。								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		負担金補助及び交付金		海の京都DMOに対する自治体負担金				11,815		
関連事業										
予算と執行の 状況	区 分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		0	11,815	11,851				
		補正予算・・・②		0	0	0				
		繰越し等・・・③		12,390	0	0				
	財源内訳	一般財源		0	0	0				
		国支出金		12,390	4,343	4,338				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	7,472	7,513				
		特定財源名称 (H29実績)	地方創生推進交付金		4,343		国庫補助金		18 頁	
			地域振興基金繰入金		7,472		基金繰入金		36 頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.40/0	0.19/0	0.19/0					
	概算人件費・・・④		3,200	1,520	1,520					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			15,590	13,335	13,371					
執行状況	執行額・・・⑥			12,390	11,815					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	100.0%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	/980,000	1,000,000			
				/	/	/				
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		特産品販売額	万円	/	1,100/2,000	/2,000	2000			
				/	/	/				
	単位あたりコスト		-	10.7						
			/	/	/					
	単位あたりコスト									

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域の人口減少・高齢化に対する対策として観光による民間主体の観光による地域振興の取り組みとして必要。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	現在は人員、財源ともに行政が主導している。 民間主導につなげる仕組みが必要。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	民間主体の観光による地域振興の取り組みとして必要。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○北部全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開。 [H29主要事業] ・継続的データ収集・整備・分析 ・着地型旅行商品造成 ・インバウンド誘客 ・情報発信・プロモーション 等	
	今後の課題及び方向性	○福知山観光協会が海の京都DMO地域本部となり、各地域本部と連携し、より広域的な観点から本市を含めた海の京都エリアへの観光誘客を図るため、大規模なプロモーション活動等を実施していくことが可能となった。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <p>・海京の取り組みによって、福知山に直接・間接のメリットがどれだけあったのか。効果測定・分析を行い、負担金のあり方や市の関わり方を考えていくべき。 → 現状を「糊塗」して進めていけば良いというものではない ・成果実績(アウトプットも含む)には、入込客数ばかりではなく、地域に落ちる消費額や、福知山に関する旅行者数/旅行商品数などを具体的に記載すべき ・福知山にとってのメリットを分析、把握することは必要 ・負担金を払う以上、効果的になるように働きかけていただきたい</p>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <p><input type="checkbox"/> 維持    <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減    <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充</p>	<p>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	森の京都DMO事業			230345	担当課	産業観光課		
	開始年度	平成28(2016)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	前田 剛			
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費	決算附属資料	190	頁		
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-			
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 府・他市協調実施 )							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	大江山や芦生の森、美山かやぶきの里を有する京都府中部地域(亀岡市、南丹市、京丹波町、福知山市、綾部市、京都市右京区京北)において、生命と文化を育んできた「森」を多面的な角度からとらえ、豊かな自然と文化に触れ、活かし、未来に受け継げるよう林業の活性化や森の文化の発信などとおして観光地域づくりを推進し地域活性化を図る。							
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.01			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 海の京都DMO							
	事業概要	森の京都エリア4市1町での観光や農林業の振興を目的に平成29年3月に設立された「森の京都DMO」に対して負担金を負担する。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		負担金補助及び交付金		「森の京都DMO」に対する自治体負担金			10,100		
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		0	10,100	9,552			
		補正予算・・・②		0	0	0			
		繰越し等・・・③		4,500	0	0			
		財源内訳	一般財源		0	0	0		
			国支出金		4,500	3,900	3,666		
			府支出金		0	0	0		
			地方債		0	0	0		
			その他特財		0	6,200	5,886		
			特定財源名称 (H29実績)		地方創生推進交付金		3,900	国庫補助金	18
			千年の森ふるさと基金繰入金		6,200	基金繰入金	36	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.20/0	0.19/0	0.19/0			
		概算人件費・・・④		1,600	1,520	1,520			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			6,100	11,620	11,072				
執行状況	執行額・・・⑥		4,500	10,100					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	/980,000	1,000,000		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		人材育成研修回数	回	/	5/8	/8	8		
		単位あたりコスト		-	2,020.0				
			/	/	/				
	単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域の人口減少・高齢化に対する対策として観光による民間主体の観光による地域振興の取り組みとして必要。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	現在は人員、財源ともに行政が主導している。民間主導につなげる仕組みが必要。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	民間主体の観光による地域振興の取り組みとして必要。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	エリア全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開 [H29主要事業] ・マーケティング調査(WEB調査・動向調査) ・旅行商品開発・販売 ・特産品開発・ブランド化・販売促進 ・人材育成 等	
	今後の課題及び方向性	○観光協会の関わり方、将来の経営見込み、事業費の市町負担、運営形態など今後調整を要する事項が多く関係市町と連携しつつ注視する必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・森京に参加している価値が具体的にどこに現れているか → 客観的に分析すべきだが、既に参加そのものを見直す時期ではないか ・森京のつながりよりも、市(及び市内事業者)の直接的取り組みにエネルギーをむけるべき。さらにというならば、朝来や丹波との連携の方に利があるのではないか ・加盟しているが、福知山に効果がうすいのであれば、今後のかわり方を検討していく必要があるのでは		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分  <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	